

評価基準

	評価項目	評価基準	配点
1	業務理解度	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の目的（当日イベントの安全かつ円滑な実施、観戦・応援環境の整備、唐津プロジェクトの一環としての「特別な一日」の創出）を十分に理解しているか。 ・第6章の必須業務と第7章の企画提案業務の位置付けを理解し、目的達成に向けた基本方針及び優先順位が明確に整理されているか。 ・安全性、来場者体験、地域との連携及び費用対効果を総合的に捉えた提案となっているか。 	20
2	企画内容の 独自性・創造性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年10月10日の唐津を、朝の波戸岬でのスタートから市内各地での観戦・催し、夜の花火大会まで一日を通して楽しめるものとする企画となっているか。 ・唐津市民が大会を身近に感じ、自ら参加し、選手への応援を楽しむことができる企画となっているか。 ・プラプラ、観戦ポイント、既存の催し、施設、文化、食、自然その他の地域資源を生かし、関係者の取組との相乗効果や会場間の連携・回遊を生み出す内容となっているか。 ・佐賀県初開催及び唐津で開催される特別感が伝わり、記憶に残る企画となっているか。 	25
3	実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・第6章に定める必須業務について、会場レイアウト、設営・撤去、運営人員、工程及び役割分担が具体的かつ現実的に整理されているか。 ・スタート地点、各パブリックビューイング、簡易応援スポット、一般来場者用駐車場及び補助シャトルバスを安全かつ円滑に運営できる計画となっているか。 ・日射、雨、風、通信障害、映像配信停止、混雑、体調不良その他の突発事象への対応が具体的に示されているか。 ・企画提案業務について、関係者との調整方法、必要な人員・設備、工程及び経費が明確で、履行期間内に実施可能な内容となっているか。 	20
4	業務遂行能力	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会、屋外イベント、パブリックビューイング、駐車場・輸送運営その他本業務に類似する業務の実績が十分か。 ・総括責任者、各会場責任者、駐車場・シャトルバス運営責任者、映像・救護・安全管理等の主要スタッフについて、必要な経験及び能力を有しているか。 ・複数会場を同時に運営できる人員、資機材、連絡体制及びバックアップ体制が確保されているか。 	15
5	協力体制と 調整能力	<ul style="list-style-type: none"> ・県との連絡調整体制及び意思決定・情報共有の方法が明確であるか。 ・唐津市、ツール・ド・九州実行委員会、警察、消防、交通事業者、学校、地域団体、曳山関係者、関連業務受託者等と円滑に連携・調整できる体制となっているか。 ・会場間及び駐車場間の情報共有、指揮命令系統並びに緊急時の連絡体制が具体的に示されているか。 	10
6	その他の 付加価値	<ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者や地域人材の活用、地域経済への波及、環境負荷の低減、アクセシビリティ等への配慮があるか。 ・過度な仮設物や人員配置を避けつつ、運営品質を確保する工夫や経費の効率化が図られているか。 ・写真、運営ノウハウ、関係者との連携等を、今後の大会や唐津プロジェクトに生かせる提案となっているか。 	5
7	予算・ コスト管理	<ul style="list-style-type: none"> ・契約上限額の範囲内で、必須業務及び企画提案業務を確実に実施できる提案価格となっているか。 ・必須業務と企画提案業務の経費が区分され、数量、単価、人員、時間等の積算根拠が明確であるか。 ・提案内容に対する費用対効果及び経費配分が適切であるか。 	5
合計	合計	合計	100

※技術点は1～6の項目（95点）とし、価格点は7の項目（5点）とする。

※各審査員の評価点の平均が60点以上であることを最低基準とする。